平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	特殊講義(スポーツイベント実践)(Special Lecture(Sports event practice))			授業コード	E030001
担当教員名	竹田　隆行			科目ナンバリングコード	E20709
配当学年	2	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	実習前のガイダンスに必ず参加してください。実習中は、担当教員の指示に従ってください。				
受講心得	スポーツビジネスの集約がスポーツイベントと言っても過言ではありません。イベントとは何か、何をもって成功とするのか等々、体験を通じて学んでください。学内では体験できないことが学ぶことができますので積極的に取り組んでください。必ず、イベント後は振り返り(評価)を行ってください。				
教科書					
参考文献及び指定図書					
関連科目	スポーツの経営学、地域とスポーツ、スポーツリテラシーⅥ(スポーツビジネス実践)				

授業の目的	イベントとは何かを学びます。本授業は、講義形式の授業とは異なり、双方向のコミュニケーションを必要とします。本授業はイベントを通じて、多くの人とコミュニケーションを図るとともに、仲間と協力をしてイベント成功させることを目的としています。また、本授業が地域貢献になっていることも理解して欲しい。
授業の概要	大銀ドームで行われる大分トリニータの試合のプレゲームとしてスポーツイベントの運営を行います。スポーツイベントの内容は、簡単なレクリエーションスポーツの指導がメインとなります。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： スポーツイベントとは1 スポーツイベントのベンチマークについて説明します。この授業で行うスポーツイベントのポジショニングとステークホルダーについて理解します。	復習2h　講義での説明を確認すること。スケジュール確認。
第 2 週 ： スポーツイベントとは2 スポーツイベントを行う意義について説明します。イベントとは、一過性のものでありその効果は長く続かないことを理解します。	復習2h　講義での説明を確認すること。スケジュール確認。
第 3 週 ： スポーツイベントとは3 授業で行うスポーツイベントの説明を行います。イベントで行うスポーツ、レクリエーションスポーツの遊び方と指導方法を学びます。	復習2h　講義での説明を確認すること。スケジュール確認。
第 4 週 ： スポーツイベントとは4 スポーツイベント(実習)についての注意事項を説明します。決められたことを必ず実施してください。参加者に良かれと勝手なことをすると、収集がつかなくなることを学びます。	復習2h　講義での説明を確認すること。スケジュール確認。
第 5 週 ： スポーツイベントにおける諸注意 スポーツイベントの実習中の注意事項と参加方法を説明します。夏季中のイベント実施には、熱中症に気をつける必要性を理解します。	復習2h　講義での説明を確認すること。スケジュール確認。
第 6 週 ： スポーツイベントの運営1 スポーツイベントの運営を体験します。担当種目のルール、指導法を確認しておいてください。イベント後は、自己評価をして、次のイベント運営に反映させて下さい。	予習1h　担当種目の確認 復習2h　イベント後の評価
第 7 週 ： スポーツイベントの運営2	

スポーツイベントの運営を体験します。担当種目のルール、指導法を確認しておいてください。イベント後は、自己評価をして、次のイベント運営に反映させて下さい。	予習1h　担当種目の確認 復習2h　イベント後の評価
第 8 週 ： スポーツイベントの運営3 スポーツイベントの運営を体験します。担当種目のルール、指導法を確認しておいてください。イベント後は、自己評価をして、次のイベント運営に反映させて下さい。	予習1h　担当種目の確認 復習2h　イベント後の評価
第 9 週 ： スポーツイベントの運営4 スポーツイベントの運営を体験します。担当種目のルール、指導法を確認しておいてください。イベント後は、自己評価をして、次のイベント運営に反映させて下さい。	予習1h　担当種目の確認 復習2h　イベント後の評価
第10週： スポーツイベントの運営5 スポーツイベントの運営を体験します。担当種目のルール、指導法を確認しておいてください。イベント後は、自己評価をして、次のイベント運営に反映させて下さい。	予習1h　担当種目の確認 復習2h　イベント後の評価
第11週： スポーツイベントの運営5 スポーツイベントの運営を体験します。担当種目のルール、指導法を確認しておいてください。イベント後は、自己評価をして、次のイベント運営に反映させて下さい。	予習1h　担当種目の確認 復習2h　イベント後の評価
第12週： スポーツイベントの運営6 スポーツイベントの運営を体験します。担当種目のルール、指導法を確認しておいてください。イベント後は、自己評価をして、次のイベント運営に反映させて下さい。	予習1h　担当種目の確認 復習2h　イベント後の評価
第13週： レポート作成1 スポーツイベントの運営について、指示通りの行動ができたか否か、参加者にうまく説明できたか、改善点等の評価をレポートにまとめます。	復習2h　イベント体験の評価
第14週： レポート作成2 スポーツイベントの成功について、何を持ってスポーツイベントの成功とするのかを客観的に評価できる指標を作成します。	復習2h　イベント体験の評価
第15週： レポート作成3 自分が体験したスポーツイベントの評価とスポーツイベントの成功指標から、新たなスポーツイベントの企画立案をします。	復習2h　イベント体験の評価

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅱ：地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	スポーツイベントに必要な知識や倫理観を身に付けるとともに、目的意識を持って自発的に学習する能力を身につける。
【知識・理解】	スポーツイベントの実践的知識を習得し、それらを総合・活用して問題解決を図るリテラシーを身につける。
【技能・表現・コミュニケーション】	チームワークを尊重しつつ主体的に活動することができ、組織の中で結果を出す能力を身につけ
【思考・判断・創造】	変容する社会において、多角的に考察・分析し、スポーツイベントの現場で課題解決できるマネジメント能力を活かし、新たな価値創造にチャレンジする能力を身につける。

〇成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	

【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			**20点**
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。			**10点**
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			**30点**
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**30点**	**10点**

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	イベント実習中の態度、活動状況を評価します。